

会 議 録

会 議 録	令和 6 年度山陽小野田市高齢者保健福祉推進会議（第 1 回）		
開催日時	令和 7 年 1 月 3 0 日（木） 1 4 時から 1 5 時 1 5 分まで		
開催場所	A スクエア 会議室 1 B		
出 席 者	萩田会長、森川副会長、石原委員、伊藤委員、井上委員、上林委員、上村委員、江本委員、屋宮委員、草田委員、坂井委員、土井委員、中務委員、永富委員、中村委員、萬代委員、長谷委員、松富委員、美濃委員		
欠 席 者	堀田委員	委員数 2 0 人 出席者数 1 9 人	欠席者数 1 人
事 務 局	（福祉部高齢福祉課） 福祉部長 吉岡忠司、福祉部次長兼高齢福祉課長 尾山貴子、 高齢福祉課技監兼地域包括支援センター所長 荒川智美、 高齢福祉課長補佐 竹内広明、地域包括支援センター主査 古谷直美、 介護保険係長 見田健治、高齢福祉係長 藤永一徳、 高齢福祉係 工藤暖也、幸松美月		
会議要旨			
<開会> 1 福祉部長あいさつ 2 議事（審議事項） （1）第 9 期山陽小野田市高齢者福祉計画の進捗状況について 事務局が資料 1 から資料 3 について説明 ○資料 1 の主な質疑応答 基本目標 1：生涯現役社会づくりの推進 【委員】 安心相談ナースホンがどのような事業か教えてほしい。 【事務局】 急病時等の緊急時にボタンを押すと看護師がいるセンターにつながる緊急通報装置（安心相談ナースホン）を貸与する事業で、民間企業に委託して実施している。緊急時の対応のほか、平時の健康相談の受付やセンターから毎月健康確認の連絡も行っている。今後も事業の周知に努めていきたい。 【委員】 安心相談ナースホンに一番関わっているのは民生委員と思う。毎年高齢者実態調査の訪問時に P R をし、設置に繋げている。 【委員】 生きがい健康づくり推進事業について、老人クラブが一生懸命活動しても、			

中々会員の増加に繋がらず、老人クラブ活動が縮小していく可能性があると思っている。今後は地区運営協議会を巻き込んで、様々な事業を進めないと生きがいに繋がらないのではないかな。

老人クラブで実施するスポーツ大会とグラウンドゴルフ大会をみると、グラウンドゴルフ大会には老人クラブ会員の倍の一般高齢者が参加されている。老人クラブでも活動を実施していくので、これまで同様支援をしていただきたい。それと別に、一般高齢者を対象にしたグラウンドゴルフやカローリング等、高齢者の健康づくり事業を地区運営協議会の地域づくりに移管して、11校区で活発化させると、事業の成果が上がるのではないかな。

【事務局】

地区運営協議会が発足し、どのように連携していくか手探りで進めている。今後の参考とさせていただきたい。

基本目標2：高齢になっても住みよい地域づくり

【委員】

第二層協議体について、今後の動きを教えてください。

【事務局】

現在、関係団体と協議途中であり、具体的に説明できる段階にない。事業の方針が決まり次第、関係者に説明したいと考えている。

【委員】

成年後見は手続きがある程度明確になっているが、任意後見は決定までのハードルが高いと感じている。任意後見の手続きが緩和されると、活用する方も多くなるのではないかな。

【事務局】

地域包括支援センターでは成年後見のほか、任意後見についても相談を受けているが、手続きについては国の制度に基づくため、市で変更することはできない。

○資料2・資料3の主な質疑応答

1 第1号被保険者数及び要介護認定者数の見込み

【委員】

ここ2～3年、超過死亡といって年齢分布から推計できる死亡者数より死亡者数が多いと言われているが、死亡者数の推移を教えてください。

【事務局】

データは持ち合わせていないが、御指摘のとおり、本市でも死亡者が多くなっている。死亡要因の分析はできていないが、介護保険の資格事務における感覚では、新型コロナウイルス感染症が拡大する前から、増加傾向が出ていたように思える。今後も死亡者数の推移は注視していきたい。

【委員】

最近の変化が高齢化の進行によるものなのか、新型コロナウイルス感染症の影響によるものなのか見極めが難しい。

要介護４・５の認定者の増加について、資料３の年齢調整された調整済み認定率をみると横ばいになっている。対象の介護度が要介護３～５で条件が異なるが、どちらかと言えば、年齢構成の影響ではないか。

施設サービスの受給率の分析は、病院に入院している人もいるので、注意しておいてほしい。

訪問サービスや福祉用具貸与は給付が少なくなっている。通所サービスのみで在宅サービスが充実し、自分らしい生活が実現できているのであれば問題ないが、在宅で生活するためには訪問等のサービスも必要と思うので、併せてみてほしい。

【事務局】

給付の分析は非常に難しいため、委員の皆さんから御指摘をお願いしたい。訪問系サービスは、不足しているサービスがないか注視していきたい。

４ 介護サービス給付費等の見込み

【委員】

訪問看護の令和６年度給付見込みがかなり増加している。在宅生活をされる方が多いからと思うが、増加要因として、自宅で新型コロナウイルス感染症の療養をしないといけない方が増えているのか。それとも訪問看護の一人当たり給付月額や利用日数は伸びていないことを見ると利用者数が増えているのか教えてほしい。

【事務局】

詳細まで分析できていないが、新型コロナウイルス感染症の拡大後、通所サービスは減少している。訪問看護については利用者数が増加したため、給付費が伸びている。

- (2) 保険者機能強化推進交付金等の評価結果について
事務局が資料４について説明

３ その他

事務局がエンディングカードについて説明した。

○エンディングカードの主な質疑応答

【委員】

エンディングカードの作成は、有効な取組と考えている。今後は、お薬手帳の保管場所が課題なので、分かりやすい場所に保管されるよう啓発してほしい。

【委員】

エンディングカードはプライベートな内容も記載することになり、時間をかけて普及していくことになる。今は市役所やスマイルエイジング薬局等で配付しているので、希望される方がいれば、薬局に問合せいただくよう伝えていただきたい。

○その他の質疑応答

【委員】

高齢者福祉計画には、障がい者福祉計画との整合も記載されている。ボランティアで視覚障がいがある方と関わっているが、入所できる施設が少ないという問題がある。また、ご本人は様々な活動をしたいという思いを持っているが、一人で外出することが難しい方も多し。タクシーで移動するときも、乗降補助が必要な場合もあり、費用が高くなるといった話も聞いているので、障がい者への理解が進んでいくことを期待している。

【事務局】

障がい者を取り巻く様々な課題があると認識している。障がい者に係る制度や支え合いは障がい者福祉計画の中で進めていくことになるため、今後も連携し、高齢者福祉計画にも生かしていきたいと考えている。

【委員】

健康保険証がマイナンバーカードに切り替わったことに関連し、救急搬送時のマイナンバーカード活用について聞いた。入所施設におけるマイナンバーカードの活用について何か情報はないか。

【事務局】

情報は持っていない。

高齢福祉課長あいさつ

<閉会>